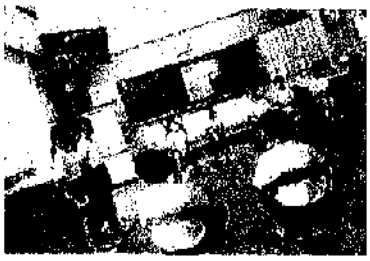
資料1.

小学校合同授業の記録

実施日時	令和６年　３月１３日（水）９：１５～１０：１５	
対象校・学年(人数)	養老町立上多度小学校・３年(14)	養老町立広幡小学校・３年(12)
場所	養老町立上多度小学校３年教室・養老町立広幡小学校３年教室	
教科名等	社会科　「まちの様子と人々のくらしのうつりかわり」	
形態	オンライン（大型モニター各校２台・ホスト｛広幡小｝タブレット３台｛板書・こども用・授業者用｝／ビジター｛上多度小｝タブレット２台｛板書・こども用｝・使用アプリ＝teams）	
ねらい	上多度校区と広幡校区の交通の様子・土地利用の移り変わりを交流する活動を通して、町の様子の移り変わりは場所によって特徴があることに気付き、それはもともとの地形の違いに関係していることを考えることができる。	
活動の様子（写真など）		
こどもの感想	広幡小 ○ 同じ養老町でも、場所によってずいぶん違いがあることがわかった。 ○ １学期にも勉強したことが、もっとよくわかった。 ○ 地形のちがいによって、うつりかわりにもちがいがあることがよくわかった。交流授業をやってよかった。 ○ 広幡地区のうつりかわりもわかってもらえてよかった。 ○ 上多度の子の意見も聞けて、楽しかった。	
教員の感想など	広幡小 ○ 少人数の子たちだが、他校の子たちに堂々と笑顔で話すなど働きかけができることが確認できてよかった。 ○ 特徴が異なる地域の学習がこどもの言葉でやりとりして進めることができてよかった。 ○ オンラインで授業内容を共有するためには、専門的な知識と技能が必要であり、各校にそういう職員がいればよいが、そうでないならICT支援員などを派遣してもらい対応できるとよい。	

記録者：竹中

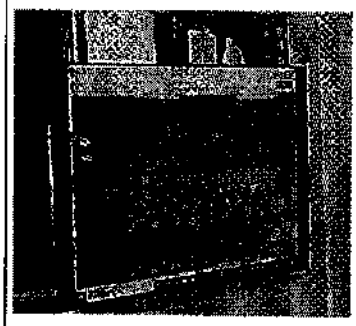
小学校合同授業の記録

実施日時	令和６年　７月１７日（水）９：１５～１０：１５	
対象校･学年(人数)	養老町立上多度小学校・２年(５)	養老町立広幡小学校・２年(９)
場所	養老町立上多度小学校　２年教室・学校周辺	
教科名等	生活科　まちたんけんの報告と合同探検	
形態	リアル（町のスクールバス活用）	
ねらい	上多度小学校と広幡小学校の２年生がともに授業を行うことを通して、学級の仲間とは違った見方・考え方に出会い、物事を見る新たな視点を獲得したり、考えを深めたり広げたりすることができる。	
活動の様子 （写真など）	 ↑学校到着時の歓迎  ↑　上多度小の子の発表と広幡小の子の感想　↑ ↑　２つの学校のこどもと職員が一緒に上多度小付近の探索　↑	
こどもの感想	上多度小 ・新しい友だちが増えてうれしかった。 ・友だちがいっぱいいた方がうれしい ・いろんな子と話ができる ・上多度のことを知ってくれてうれしかった。 ・電車、交番、栗の木など自分たちがあたり前に見ていた物に関心をもってくれた。 ・同じ学年の子の人数が増えて楽しい。 ・次に広幡小に行くのが楽しみ。 ・どんな所か知りたい。友だちを増やしたい。 ・体育や音楽なども一緒にやってみたい。 ・今は気の知れた子どうしなので緊張しないが、たくさんの人になると緊張するかもしれない。 広幡小 ・上多度のことをいっぱい教えてくれたのでうれしかったです。だから、次は広幡のことをいっぱい教えたいです。 ・上多度の子は、私たちに「ここは〇〇だよ。」と道をやさしく案内してくれたので、次は私たちがやさしく案内してあげたいです。 ・上多度小にないものや知らないこと、田んぼが多いこととか虫とかが多いものを教えたいです。 ・広幡は田んぼに囲まれているけど、上多度小は木に囲まれていました。 ・上多度は坂が多いんだなあと思いました。 ・上多度は山の方にあるんだなと思いました。	

教員の感想など	上多度小 ・子どもたちは、今回の交流を楽しみにしていた。 ・本校の都合で交流時間が短くなったが、一緒に見学などができたことはよかった。 ・広幡小の杉野先生には、日程やバスの手配、立案など中心になってやっていただきありがたかった。こうした学校間の交流には、担任以外で中心となって立案する職員が必要と感じた。 ・５人という小集団の生活であるため、同じ年の子との交流する機会があることで、よい刺激になったと思う。 広幡小 ・お互いに今日の授業をとても楽しみにしていたことが、児童の様子から伝わってきた。 ・広幡の児童は、「どんな発表が聞けるのかな？」とワクワクしていた。上多度の児童は、発表の準備を整え、分かりやすく紹介してくれた。 ・広幡小の周りとの違いについて、興味をもって聞くことができた。 ・一緒に校区を歩く中で、具体的に上多度小校区の特徴を発見したり説明してもらえたりして、より理解が深まった。 ・上多度小、広幡小の児童で固まって話していることが多かった。もっと積極的にお互いに会話ができるようにしたい。 ・少人数では学びきれない内容が多く、交流授業を通して得るものは多かったと思う。児童は「また、交流授業がしたい」と感じている様子だった。

記録者：竹中

小学校合同授業の記録

実施日時	7月17日（水）８：１５～８：３０	
対象校・学年(人数)	池辺小学校３年生（26人）	笠郷小学校（２８人）
場所	教室	
教科名等	朝の活動	
ねらい	次の活動（社会科や総合的な学習の時間など）に向けて、お互いを知り、親しみをもつことができるようにする。	
活動の様子（写真など）	オンライン（チームス）で各クラスをつなぎ、学級目標の交流や、１学期がんばったことをそれぞれの学校が伝えた。 各小学校の校歌を披露し合った。 	
こどもの感想	＜池辺小＞ ・ぼくは笠郷小とのリモート交流で、仲良くなれるように気持ちをこめて校歌を歌いました。(H・S) ・私はまっすぐ姿勢よく立って「太陽（勇気・手本・やる気）」の学級目標にある手本の姿を見せることができるようにがんばりました。(K・M) ＜笠郷小＞ ・池辺小学校の校歌はハキハキした声を出していてすごいと思いました。学級目標の交流では、笠郷小学校とは違うけれどとても良い学級目標でした。これからまた会ったときは自己紹介をしたいです。池辺小学校との絆をもっと深めたいです。(O.S) ・私は、池辺小学校の学級目標を聞いて、いろいろ考えているんだなと思い、すごいと思いました。校歌を聞いて、きれいに歌っていてすごいと思いました。私も、上手に歌いたいです。もしも、一緒に授業を受けるならば、楽しく交流したいです。(O.Y)	

教員の感想など	・今後、12月3日（火）に池辺小3年生は社会科の学習でトマト農家見学に行く予定。（令和6年度は笠郷地区の農家さんが、見学の受け入れ農家担当） その活動を機会に、社会科で学んだ「学校の周りの様子」などの学びの成果を池辺小と笠郷小の3年生が交流し合う予定も組んでいく。 ・ふるさと学習で学ぶ史跡が各校区にあるため、それらを活用した交流もできるとよい。計画中。 ・こども園や幼稚園で一緒だったという児童が多く、同じ中学校校区であるため、親しみをもって交流していた。 ・元気な様子を伝えるやりとりができて、刺激をもらい合えた。 ・学校によって校歌や学級目標が違うことを知り、児童の世界が広がった。これをきっかけに、他の学校への興味関心が高まり、仲良くなりたいという願いをもつ児童が増えた。 ・東部中学校で一緒になることを考えると、こうした事前の交流によって知っている子が増えることで、進学への楽しみが増えるのではないかと感じた。